

高等部 研究授業

9月8日(金曜日)県総合教育センター 専門支援部特別支援課特別支援班班長 織部恵理子先生を助言者にお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 生徒がやりがいを感じる授業づくり

～自ら考え動くためのフィードバックの工夫～

<研究授業> 「作業学習「お客様に喜んでもらえる製品を作ろう」 染色縫製班 染色G(グループ)

「素敵なバッグ!完成が楽しみです!」

染色Gが農耕班の玉ネギ皮、シソ等で草木染をし、縫製Gがプリント布とパッチワークをして、オリジナルバッグを製品化しています。染色布がどのような形で製品化されるのか、サンプルバッグに布を置いて出来上がりを視覚化、自分たちの作業の価値付けをしています。



<縫製G>



<福祉祭り販売風景>



「これは合格間違いないですね!」

(自ら考え動くフィードバックの工夫)

一目で良品の判断ができる治具を用いて確認をしています。透明の筒に布が収まると、染色後、中央に大きく花が咲いたような絞り染めの模様になります。

生徒と教師の嬉しそうな表情からも、やりがいを感じられます。

縫製Gから依頼のあった色に染めていきます。任された仕事を「縫製Gのために」「お客様のために」と誰かのために良いものを作ろうとする姿勢を見て教師が「綺麗に染まって嬉しいですね、喜ばれますね。」と言葉にすることで(言語化)、行動と気持ちが結びつき、生徒はやりがいを感じ主体的に活動していけるようになることを織部先生から教えていただきました。

